



先輩に聴いてみた

ストーリーファイル

# 実習 STORY FILE

取材:『Clinical Study』編集室  
編集協力:本間 美加子

先輩看護学生にうかがった実習での経験や思い出、1年生の皆さんへのアドバイスをお届けします！ぜひ参考にしてください！

今月の先輩

とうかつ  
勤医会東葛看護専門学校  
の3年生の皆さんに  
うかがいました。

実習や課外活動で学んだことのなかで、一番大切だと感じていることは何ですか？

**大矢**：2年次に行った「地域フィールド」というフィールドワークをとおして、患者さんの生活背景を理解してかわかることの大切さを学びました。私は路上生活者の方を対象とした医療相談会に参加し、憲法で“健康で文化的な最低限度の生活を営む権利”が保障されているながら、医療を十分に受けられない人が多いことに違和感を覚えました。そのような社会的問題にも目を向けながら、患者さんと共に歩んでいくことが必要だと感じます。

**志村**：患者さん主体の看護を実践することが大事だと思います。学生は「これを食べたい」「歩きたい」などの患者さんの願いを直接かなえることは難しくても、足浴を実施したり日中起きていられるように工夫をしたり、

願いの実現につながる看護をすることはできます。患者さんを第一に考えた個性のある看護と、私も一緒にがんばるという姿勢を大切にしていきたいです。

**岡本**：患者さんのお話をしっかり聞くことです。3年次の臨地実習で、医療費の支払いと退院後の生活に経済的な不安を抱える患者さんを受け持ちました。学生だからこそできたことかもしれませんが、じっくりお話を聞き、その方の不安を看護師さんやケースワーカーさんに伝えることができました。私自身も、困難に直面したときにグループメンバーに話を聞いてもらったことが支えになりました。

**小山**：患者さんに対して勝手な思い込みをしないことです。実習前は、認知症の患者さんがどこかへ行ってしまうのは「しかたがないこと」と考えていたのですが、

後輩に向けて…

これから進級を控える

1年生に向けてアドバイスやメッセージをお願いします！

おおや たくま  
大矢 拓真さん

教科書には載っていない患者さんからの学びは、自分自身の成長につながります。臨地実習はタイトなスケジュールで大変だと思いますが、体調に気をつけてがんばってください！



しむら はづき  
志村 葉月さん

2年生になると臨地実習での学びが大きく変わってきます。欠かせないのが解剖生理の知識なのできちんと勉強しておきましょう。わからないことがあったら一人で抱え込まず、友達や先生に相談してくださいね。



おかもと ゆき  
岡本 由起さん

臨地実習では患者さんからの学びを大切にしてほしいです。自分がしたい看護ではなく、患者さんにとって最適な看護を実践できているか、考えながら成長していきましょう。応援しています！



こやま ゆな  
小山 友菜さん

これからわからないことや困ったこと、つらいことにたくさん直面すると思います。でも、まわりには信頼できる仲間がいます。仲間と支え合いながらがんばってくださいね。



実際に受け持った患者さんとお話をうかがってみると、一つひとつの行動に理由がありました。それ以来、目の前にいる患者さんとの対話や事実を重視し、勝手な判断や解釈をしないよう心がけています。

3年間の実習を踏まえ、現在目指している看護師像や目標を教えてください。

**大矢**：患者さん自身と患者さんの願いを尊重する看護師になりたいと考えています。患者さんの願いをかなえるために、がんばってくださいという励ましではなく、一緒にがんばろうとする姿勢を大事にしていきたいです。

**志村**：疾患や病態の知識だけでなく、地域や社会の問題にも目を向けられる視野の広い看護師になることが目標です。3年間で、経済の格差が疾患に関連するケースや、憲法があってもその人らしく生きられないことがあると学びました。その知識を踏まえ、精神的・社会的・身体的に患者さんに寄り添った看護を提供したいです。

**岡本**：臨地実習の際に排泄介助を行う看護師さんの手が回らず、ごみ箱に排泄をした患者さんの事例に出会いました。このとき、先生から患者さんがどんな気持ちだったか考えるように言われたのをきっかけに、患者さんを一人の人間として尊重し、権利を守る看護の大切さに気づかされました。今は、常に患者さんの立場に立って物事を考えることができる看護師になることが目標です。

**小山**：患者さんのお話を聞き、教えてもらいながら学び続ける看護師になりたいです。1年次では「寄り添う」という言葉を簡単に使っていましたが、病態の理解なしに患者さんの要求を正確に受け止めることはできません。医学的な知識と経験を積む一方で、患者さんの個性を把握するためにも、患者さんの願いをしっかりと聞き、看護に反映できるようになりたいと思います。

## SCHOOL PROFILE



勤医会  
東葛看護専門学校  
〒270-0174  
千葉県流山市下花輪409  
Tel: 04-7158-9955

1995（平成7）年に開校した3年課程の看護専門学校で、設置主体は医療法人東京勤労者医療会です。「人間性豊かな看護師になる」を教育理念に掲げ、地域社会の実態を知ることや平和を考えるための独自の取り組みを実施しています。学校運営に携わる学生自治会の活動も盛んに行われています。

### 東葛看護専門学校の学生自治会

学校行事の運営や学生の学習環境をより良くするために活動している組織です。2020（令和2）年度には、アルバイトで学費や生活費を工面している学生が学業に十分な時間をとれないという実態から、給付型奨学金の制定に向けた署名活動を行い、「流山市看護師等修学金貸付制度」を実現させるなど、看護学生がより良い学校生活を送れるようはたらきかけています。

『クリニカルスタディ』編集部では可能な限り感染予防策を講じ、必要な配慮を行ったうえで取材しております